

CX-F500

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。
株式会社 ケンウッド KENWOOD CORPORATION © (J)

安全上のご注意

お買い上げいただきましてありがとうございました。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 絵表示の例
- 注意** △記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。
 - 禁止** ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
 - 実施** ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

仕様一覧

アンテナ部	受信チャンネル (FM帯) (VHF帯) (UHF帯) 周波数範囲 (FM帯) (VHF-L帯) (VHF-H帯) (UHF帯) ブースターゲイン (FM帯) (VHF帯) (UHF帯) 出カインピーダンス (TV) (VICS) ケーブル長 (アンテナ入力) (アンテナ出力) (電源)	VICS 1 ~ 12 ch 13 ~ 52 ch 76 ~ 90 MHz 90 ~ 108 MHz 170 ~ 222 MHz 470 ~ 770 MHz 10 dB 10 dB 10 dB 75 Ω x 4 (φ3.5 mm L型ミニプラグ) 75 Ω x 1 (φ3.5 mm L型ミニプラグ) 3 m 2 m 2 m
電源部	電源電圧 消費電流	14.4 V (11 ~ 16 V) 245 ~ 310 mA
寸法・質量	フィルムアンテナ部外形寸法 (W×H) RFアンプ/電源ユニット部外形寸法 (W×H×D) 質量 (重さ)	350 x 102 mm 77.6 x 48.6 x 13.7 mm 約1.0 kg

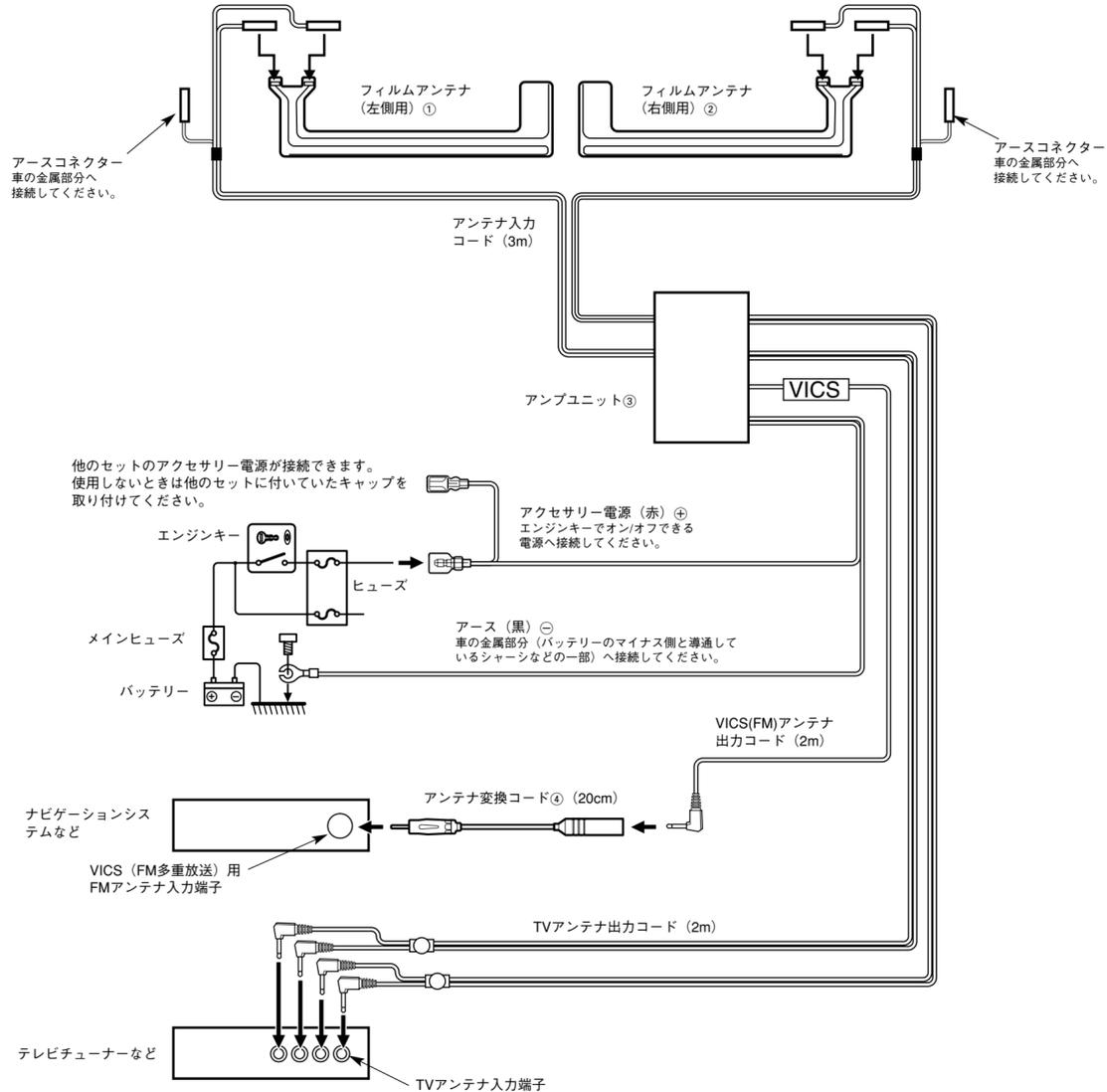
※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

付属品一覧

- ① フィルムアンテナ (左側用)1
- ② フィルムアンテナ (右側用)1
- ③ アンプユニット1 (アンテナ入力3m、アンテナ出力2m)
- ④ アンテナ変換コード(20cm).....1
- ⑤ 両面テープ.....1
- ⑥ コードクランパー6
- ⑦ クリーナー1

接続のしかた

ショート事故防止のため、エンジンキーを抜いた後、バッテリーのマイナス端子を外してください。



安全上のご注意

警告

禁止 大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



実施 配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



実施 本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通り行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止 コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。

実施

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の>取り付けと配線をしてください。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。

実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。

禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。

実施

コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。<ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダル などに>巻き付くと事故の原因となり危険です。

禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



注意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因となります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量 (アンペア数) の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。

禁止

製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

注意

実施 カーオーディオ製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

禁止

本製品を車載用として以外の用途では使用しないでください。

実施

車体やねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

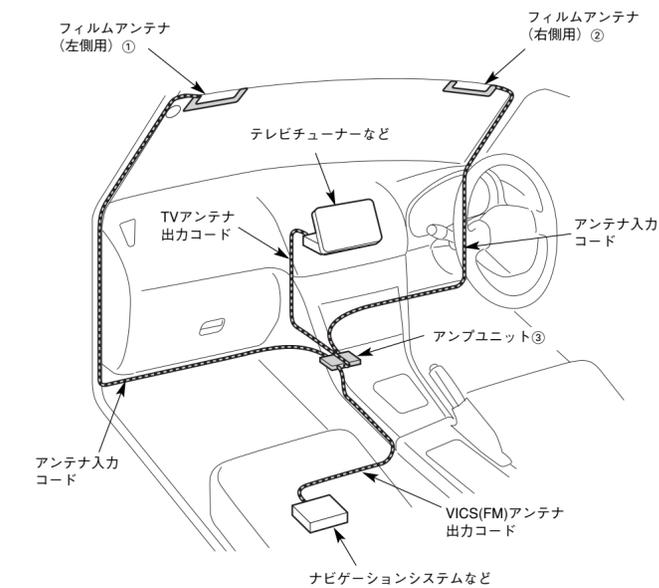
実施

コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。

取り付け上のご注意

- このフィルムアンテナは車室内専用です。
 - 下記の位置には取り付けないでください。
 - ・フロントウィンドー上側の縁から10cm以上離れた位置。
 - ・車検票章などと重なる位置。
 - ・運転者の視界を妨げる位置。
 - ・エアバックや保安部品の動作の妨げとなる位置。
 - ・リアハッチなど可動するガラス面。
 - 下記の場合は受信感度が低下します。
 - ・熱線反射ガラスやミラー調ガラスフィルムの貼ってある場所。
 - ・純正ラジオなどのアンテナ（パターン）に重なる場所。
 - ・ウィンドーの熱線と重なる場所。
- ⓘ 車両によっては、ワイパーを動かした際に受信感度が変わる場合があります。

■ 取り付け例



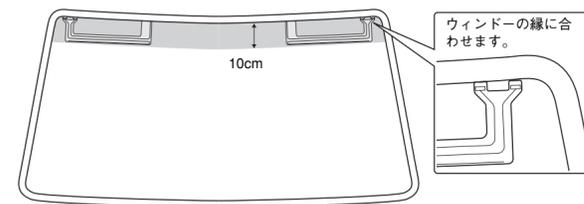
- フィルムアンテナとアンブユニットの取り付け位置を十分に確認してから作業を行ってください。フィルムアンテナは貼り付け後乾燥すると貼り直すことができません。両面テープは貼り直すことはできません。
- 貼り付け面の油分や汚れをきれいに拭き取ってください。
- フィルムアンテナを折り曲げたり、傷を付けないでください。

取り付け方法

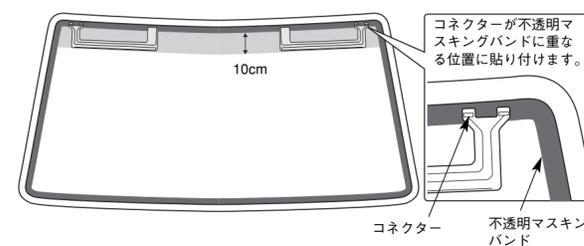
■ フィルムアンテナの貼り付け方法 (フロントウィンドーへの貼り付け例)

- 1** 取り付け位置を確認します。
フィルムアンテナには、接着面と非接着面（車室側）、左側用と右側用がありますので注意してください。

● 不透明マスキングバンドがない場合



● 不透明マスキングバンドがある場合

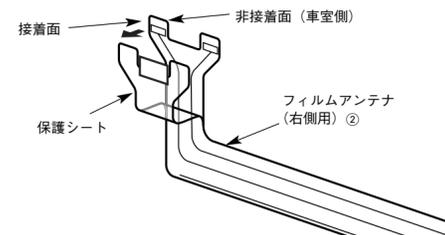


フロントウィンドーの貼り付け位置の注意

フィルムアンテナはガラス面の縁から10cm以内に貼り付けてください。この範囲をはみ出して貼り付けた場合、車検非対応となり車検申請時に不合格となります。

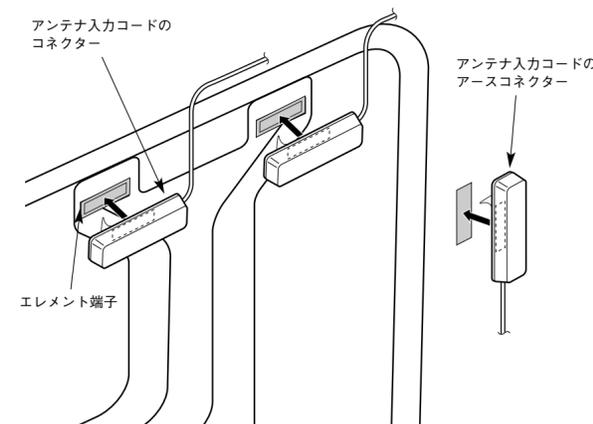
- 2** 貼り付け位置の汚れを付属のクリーナー⑦できれいに拭き取ります。霧吹きなどで貼り付け位置に水を多めに吹き付けます。
ⓘ 中性洗剤を1、2滴混ぜた水を使用するとすべりが良くなります。

- 3** 保護シートを半分くらいはがしフロントウィンドーに貼り付けます。



- 4** フィルムアンテナが動かないように押さえて残りの保護シートをはがします。
ⓘ 水をかき出す前であれば、貼り付け位置を修正することができます。
- フィルムアンテナとガラスとの間に空気が残らないように水をかき出します。
ⓘ ゴムベラなどで中央部から外側にかき出してください。ゴムベラがない場合は板などに布を巻いて行ってください。
- フィルムアンテナや周囲の水を乾いた布で上から押さえるようにして拭き取ります。

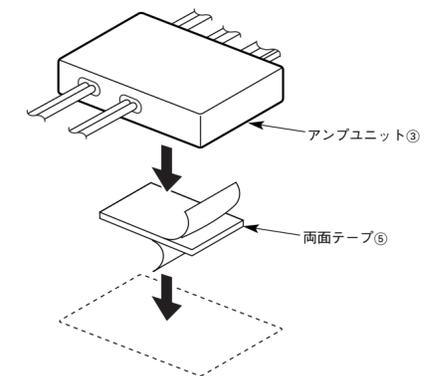
- 5** フィルムアンテナが十分に乾いてからエレメント端子にアンテナ入力コードのコネクタを貼り付けます。
アンテナ入力コードのアースコネクタを車両の金属部分に貼り付けます。
ⓘ アースコネクタは、塗装された金属部分に貼り付けても構いません。



- 6** アンテナ入力コードを配線します。途中、数カ所コードクランパー⑥で固定します。

■ アンブユニットの取り付け方法

- 1** 取り付け位置を確認します。
貼り付け位置の汚れを付属のクリーナー⑦できれいに拭き取ります。
- 2** アンブユニットに両面テープ⑧を貼り付けて、アンブユニット③を車両に貼り付けます。



- 3** TVアンテナ出力コードとVICS(FM)アンテナ出力コードを配線します。
ⓘ VICS(FM)アンテナ端子の形状がJASOの場合は、アンテナ変換コード④を使用してください。